

事業概略書

事業名	重症心身障害児者の地域生活の実態に関する調査について
事業目的	在宅で生活をする重症心身障害児(者)(以下、重症児者という)家族は様々な努力をしながら在宅生活を続けている。しかし、重症児者の重度化や保護者の高齢化により在宅介護に耐えられなくなり施設入所を希望する実態が多く見受けられる。また在宅福祉サービスの実施主体が市区町村に移行したことによりサービス内容にも地域格差が出てきている。そのような状況を踏まえ、現在在宅で暮らす重症児者がどのような状況にあり、どのような困難に直面し、どのような支援を希望しているのか、また将来に関して望むことは何かを把握し、今後の支援の在り方を明らかにすることを目的とした。
事業概要	<p>1.各都道府県、指定都市、東京都内児童相談所、重症児施設及び重症児病棟を有する国立病院機構国立病院に対しアンケート調査を行い、全国における入所待機児(者)数及び実態について考察した。</p> <p>2.在宅で生活している重症児者の実態を把握するため、NICU退院児家庭、肢体不自由・病弱特別支援学校在籍児童・生徒、当会在宅会員へアンケート調査を実施し、在宅生活の維持・継続に必要な支援体制について考察した。</p> <p>3.重症児施設及び在宅生活からケアホームへ移行した障害者について実施計画策定から実施に至るまでの問題点や反省点を検証し、今後の地域移行に必要な支援の在り方、条件整備等について考察した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>調査の結果、入所待機者は全国で3,703人と推計された。これまで重症児施設関係者が推測していた入所待機者数(3,000~5,000人)を裏付けることができた。</p> <p>また、重症児施設は様々な形で在宅重症児者をバックアップしており、障害者やその保護者にとってなくてはならない施設であることが浮き彫りにされた。</p> <p>NICU退院児家庭の保護者(特に母親)に対しては、24時間体制で往診、訪問看護、訪問介護を支援する施策の創設が望まれる。</p>
事業主体	<p>〒154-0005 東京都世田谷区三宿2-30-9 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会 TEL: 03-3413-6781 E-MAIL: mamorukai@msi.biglobe.ne.jp</p>